

1 単元名 じんぶつがしたことをそうぞうしよう 「かいがら」

2 単元の目標

- (1) 語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読することができる。〔知識及び技能〕(1)ク  
 (2) 場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像することができる。  
 〔思考力、判断力、表現力等〕C(1)エ  
 (3) 言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。  
 「学びに向かう力、人間性等」

3 本単元における言語活動

会話文や挿絵を手掛かりにして場面の様子を読み、登場人物に話したいことを伝え合う。  
 (関連：〔思考力、判断力、表現力等〕C(2)イ)

4 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。(1)ク)	①「読むこと」において場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。(C(1)エ)	①進んで音読に取り組み、場面の様子に着目しながら登場人物の行動を具体的に想像し、学習課題に沿って考えたことを友達に伝えようとしている。

5 単元について

(1) 教材観

本教材は、くまのこの行動を中心に描かれていて話の展開が捉えやすい。また、くまのことうさぎのこの会話は、短いながらも気持ちが豊かに表現されていて児童の共感を呼ぶであろう。挿絵は、どの場面にも表現豊かなくまのことうさぎのこの様子が生き生きと描かれており、登場人物の行動や気持ちを読み取ったり、想像を広げたりする助けになるだろう。したがって、本単元でねらう〔思考力、判断力、表現力等〕C(1)エ「場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像すること。」の実現に適した教材であると考えた。

前単元の「おおきなかぶ」では登場人物の行動を読み取り、展開を楽しむ力を高めてきた。そこで、本単元では、会話文や挿絵を手掛かりにして場面の様子を読み、登場人物に話したいことを伝え合う言語活動を設定することで、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像し、物語を読み味わう資質・能力を育成したい。この学習は「サラダでげんき」での、中心人物に寄り添い、だれが何をしたのかを読み取る学習へとつながっていく。

(2) 児童観

事前アンケートによると本学級の児童は、「読書が好きである」と答えた児童が\*%であった。毎週の図書館での本の貸し出しも楽しみにしており、読書については肯定的なイメージをもっている児童がほとんどである。しかし、「物語に出てくる人物の気持ちを考えながら読んでいる」という児童は\*%であり、楽しんで読書はするものの、登場人物の行動や、そこにつながる人物の気持ちを想像することは難しい児童が多い。また、物語の内容をよく理解しないまま読んでいる児童も見られた。単純に絵を楽しみ文字は追っているだけで、叙述や言葉に着目して想像を広げて読み深めている児童が少ないと考える。そこで、本単元では叙述から登場人物の行動や様子を想像する力を身に付けられるようにしたい。

(3) 指導観

本単元では、場面ごとに人物の行動や様子について想像したことを互いに聴き合ったり、心情の

変化を可視化したりすることによって、音読で表現する力と物語を深く読み味わう力を育成したい。指導に当たっては、場面の様子について想像を広げて読むために、くまのこの心内語を行動や様子から想像させて、人物になりきって吹き出しに言葉を書かせる。その際に、吹き出しだけでなく、表情のないくまのこの顔を用意し、その時の気持ちがわかるように目と口を描かせ、場面ごとのくまのこの行動や気持ちの変化がわかるようにする。

6 単元の指導計画（6時間扱い）

○は指導に生かす評価場面、◎は記録に残す評価場面

次	時	学習内容・活動	知	思	態	評価及び評価方法等
1	1	<p><b>学習課題</b>            どんなおはなしかそうぞうしておんどくしよう。～どのようによむとよいだろう～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>登場人物がしたことやそのときの気持ちを考えながら物語を読むという学習課題を確かめ、単元全体の見通しをもつ。</li> <li>出てくる人物を確かめ、挿し絵をもとに場面の順序を確かめる。</li> </ul> <p><b>まとめ</b>            じゅんばんにきをつけて、とうじょう人ぶつやばめんをおもいうかべながらよむとよい。</p>			○	<p>態①：物語に興味をもち、進んで読むようとしているかを見取り、つまずいている児童には、個別に声をかけながら単元を通した見通しをもてるようにする。  <b>【ワークシート、観察】</b></p>
2	2	<p><b>学習課題</b>            くまのこはどんなことをかんがえたのだろう。①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>会話文の話者を読み取る。</li> <li>「ぼくといっしょだ。」といったくまのこの気持ちを考える。</li> </ul> <p><b>まとめ</b>            うさぎちゃんと好みがおなじでうれしいけれど、かいがらをあげられるかくまのこはこまっている。</p>	○		○	<p>知①：語のまとまりに気を付けて読んでいるかを見取り、つまずいている児童には、文節ごとに切った文章を提示する。  <b>【観察】</b></p> <p>思①：場面の様子に着目して、登場人物が考えたことや様子を想像しているかを見取り、つまずいている児童には、行動や会話に線を引くよう助言する。  <b>【ワークシート・観察】</b></p>
3	3 本時	<p><b>目標：くまのこの行動を中心に、考えたことを想像しながら読むことができる。</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>前時までの学習を想起し、本時の場面を音読する。           <ul style="list-style-type: none"> <li>本文を指で追いながら読む。</li> </ul> </li> <li>本時のめあてを確認する。</li> </ol> <p><b>学習課題</b>            くまのこはどんなことをかんがえたのだろう。②</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>くまのこが貝殻を持って帰った時の様子を想像する。           <ul style="list-style-type: none"> <li>そっとしまった様子を動作化する。</li> <li>くまのこの「いっしょうけんめいかんがえました。」とは何を考えたのか想像する。</li> </ul> </li> </ol>				<ul style="list-style-type: none"> <li>自分だったらどうするか視点で考えるように助言する。</li> </ul> <p>思①：場面の様子に着目して、一生懸命考えているくまのこの様子や考えたことやを想像している。  <b>【ワークシート】</b></p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>あげたくないという思いや、やっぱりあげたいという心情の変化を心情バロメーターで確認する。</li> <li>どこからそう思ったのか教科書に線を引く。</li> <li>ペアで互いの考えを交流する。</li> </ul> <p>4 貝殻をあげたくまのこの気持ちを想像する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>貝殻をあげたときのくまのこの気持ちや表情を書き入れる。</li> </ul> <p>5 本時で学習した場面の音読をする</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>くまのこの気持ちを想像しながら音読をする。</li> </ul> <p>6 本時のまとめをする。</p> <div data-bbox="255 712 746 931" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>まとめ くまのこは、たくさんやんだけれど、なかよしのうさぎちゃんのためにかいがらをあげたいとかがえた。</p> </div> <p>7 本時の学習の振り返りと次時の学習の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>次時では、貝殻をもらったうさぎちゃんの気持ちやくまのこの気持ちを考えることを知り、学習の見通しをもつ。</li> </ul>	◎		<ul style="list-style-type: none"> <li>くまのこは何に悩んでいるのかをおさえる。</li> <li>一生懸命考えた結果、うさぎちゃんにあげることを決意したことをおさえる。</li> </ul> <p>知①：語のまとまりに気をつけながらくまのこの気持ちを考えて音読している。 【観察】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>視点に対して、◎・○・△を選択することで、学習を振り返ることができるようにする。</li> </ul>
4	<p>学習課題 2人に、つたえたいことはどのようなことだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>貝殻を耳に当てる2人の様子に着目し貝殻をもらったうさぎちゃんの行動や気持ちについて想像したことを伝え合う。</li> <li>繰り返し「ありがとう。」と言われたくまのこの気持ちを考える。</li> <li>くまのことうさぎちゃんに伝えたいことを発表する。</li> </ul> <div data-bbox="255 1608 746 1760" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>まとめ ○○に、「……………」と伝えたい。</p> </div>	◎		<p>思①：大切なものをあげたり、もらった2人の気持ちを場面の様子に着目して、想像することができる。 【ワークシート】</p> <p>○ 態①：場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像しながら伝えようとして見取り、つまづいている児童には、挿絵をヒントにしながら登場人物の行動を確認するよう助言する。 【活動の様子】</p>

<p>5 6</p>	<p>学習課題 すきなおはなしをしょうかいしよう ～ものがたりをよむためのコツはなんだろう。～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教科書で紹介された本の中から好きな本を読んで、読み聞かせを聞いたり自分で読んだりする。</li> <li>おはなしから想像したことにふれながら、本を読んでおもしろかったところなどを紹介し合う。</li> <li>想像を広げて物語を楽しんで読むことができたか振り返る。</li> </ul> <p>まとめ えをよく見たり、文しょうにかかっていることをよくよむと、こうどうやきもちをそうぞうできる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>単元の振り返りをする。</li> </ul> <p>ふりかえり ものがたりをよむときには、かかっていることから、とうじょう人ぶつのこうどうをそうぞうしながらよむことがたいせつ。</p>			<p>◎ 思①：場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。 【観察・ワークシート】</p> <p>◎ 態①：進んで音読に取り組み、場面の様子に着目し、登場人物の行動を具体的に想像したことについて友達に伝えようとしている。 【活動の様子・ワークシート】</p>
----------------	--	--	--	--